

就活へ新聞活用法学ぶ

静岡文化芸術大学生が「実践塾」

静岡新聞社は31日、浜松市中区の静岡文化芸術大で、2020年卒業予定の同大の学生や大学院生を対象にした「実践就活塾」を開い

た。学生ら12人がエンタリーシート作成で気をつけるべきことや新聞の活用法などを学んだ。県西部の企業や自治体の採用担当者3人

がパネルディスカッションで「(同業他社ではなく)なぜこの会社なのかを書いて」「限られたスペースで自分の個性をアピールして」とアドバイスした。

文化政策学部3年の安江咲耶さん(21)は「新聞記事から知識を得て面接の質問に備えたい」と話した。

同社浜松総局の担当者らは新聞の読み方を解説し、見出しの大きさや位置でニュースの価値を判断できることを伝えた。その上で「就活のあらゆる場面でニュースの知識が問われる。新聞を読んで情報の幅を広げて」と呼び掛けた。



就活に向けた新聞活用法を学ぶ学生ら
＝浜松市中区の静岡文化芸術大